|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **１/４** | 令和6年度JCOMMプロジェクト賞候補推薦書 | | |  | | **№** |
| 年　　　月　　　日　　提出 | | | 受付 　年　月　日 |
| 推　薦　者  または  応募者 | | 氏　名  　　所属・職名  　　連絡先  (住所・Tel・E-mail) | | | | |
| 推薦する  プロジェクト名 | |  | | | | |
| 候補対象者 | | 氏名 または 団体名 | 住所　または　所在地 | | 所　　　属  (個人の場合のみ記入） | |
|  |  | |  | |
|  |  | |  | |
|  |  | |  | |
|  |  | |  | |
|  |  | |  | |
| プロジェクトの概要 | | プロジェクト名 |  | | | |
| 実施主体 |  | | | |
| 実施時期 |  | | | |
| 候補対象者の　プロジェクトへの関与・貢献度（候補対象者が複数の場合記入） | |  | | | | |
| 添付資料名 | |  | | | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **２/４** | 令和6年度JCOMMプロジェクト賞候補推薦書 | | **№** |
| プロジェクト業績名 |  | |
| プロジェクトの内容および推薦（応募）の理由  　　本欄には、推薦（応募）されるプロジェクトの内容および推薦（応募）の理由について、冒頭にその要旨をわかりやすく800～1500字程度で記述した上で、このプロジェクトについての、①交通上の諸問題の緩和に対する実質的貢献（応募されたプロジェクトが、都市・地域のモビリティの質的改善や渋滞、環境問題、公衆の健康増進問題や都市構造問題などの交通上の諸問題の緩和にどの程度貢献しているかについて、社会的便益の視点から評価します。提出された資料の範囲で、費用便益分析結果をはじめ、当該プロジェクトの効果についての報告値やプロジェクトの規模や回収率、対象の多面性等を勘案しつつ、応募されたプロジェクトがどの程度の社会的便益を創出しているかを「定性的」に判断し、評価します）、②交通上の諸問題の抜本的緩和に繋がり得る新規性（応募されたプロジェクトにおける種々の工夫や新規性のある部分（例えば、活用されている技術やプロジェクトの対象、あるいは、その実施体制等についての工夫や新規性）が、渋滞や環境問題、地域モビリティの確保や、公衆の健康増進問題、都市構造問題など、新たな視点も含め、交通上の諸問題の緩和において大いに貢献しうる可能性を持つか否かという視点から評価します）、③プロジェクト自体の完成度・応用可能性（応募されたプロジェクト自体の完成度が高く、取り組みとして細部にまで配慮が行き届いているかどうかという点について評価を行います。また、プロジェクトで提案されたツール、ソフトウェア、仕組みなどが他地域への展開可能性を有しているか、及びモビリティ・マネジメント以外の施策との連携（パッケージ化）など、その活用可能性や応用可能性を含めたプロジェクトとしての総合性についても評価を加えます）、④取り組み姿勢（多数の関係者調整を必要としたり、簡単には効果が期待できない困難な問題に対してもひるまずに取り組み、特筆すべき努力がプロジェクト遂行のために注がれているかという点について評価を行います。また、①における効果が数値として大きくなくとも、モビリティ・マネジメントの社会的な認知度を高めるなど、社会としての取り組みを進めていく上で裾野を広げることができたか否かという視点からも評価を加えます）、⑤その他の特筆すべき事項について、それぞれ焦点を絞り、具体的かつ明確に記述して下さい。(本説明は削除しても構いません) | | | |
| プロジェクトの内容および推薦（応募）の理由 | | | |
| ① 交通上の諸問題の緩和に対する実質的貢献 | | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **３/４** | 令和6年度JCOMMプロジェクト賞候補推薦書 | | **№** |
| プロジェクト業績名 |  | |
| プロジェクトの内容および推薦（応募）の理由（つづき）  ② 交通上の諸問題の抜本的緩和に繋がり得る新規性  ③ プロジェクト自体の完成度・応用可能性  ④ 取り組み姿勢  ⑤ その他 | | | |

注　　　意　　　が　　　き

１．候補対象者が5名を超える場合は、別紙に記入のこと。

２．推薦書は黒で明瞭に記入して下さい（鉛筆は不可）。

３．推薦書4/4には、原則として、プロジェクト全体の概要や特徴を示す写真などを貼付するものとし、それぞれに簡単な説明をつけて下さい。また、関連する報告書やドキュメント等があれば同封いただいても結構です。

４．内容によっては、JCOMM実行委員会にて、この推薦書にてプロジェクト賞に応募いただいたものを「マネジメント賞」等で評価させていただく場合もあります。ご承知おきの程、お願い致します。

５．提出期限　2024年4月17日（水）(必着）

６．提出先　　〒604-0013　京都市中京区新町通夷川下る二条新町717

（一社）システム科学研究所内　JCOMM賞事務局（担当：東・上田）

e-mail: jcomm@issr-kyoto.or.jp

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **４/４** | 令和6年度JCOMMプロジェクト賞候補推薦書 | | **№** |
| プロジェクト業績名 |  | |

|  |
| --- |
| 写真等とその概要 |

*… 「受領通知」送信先等、必要事項をご記入下さい。…*

**1．F A X**：（　　　　　）　 　　　－

**2．宛 先**：

**3．賞の種類**

令和6年度JCOMMプロジェクト賞候補推薦書

**4．プロジェクト業績名**

『 』

**受領通知**

　　 上記の推薦(応募)について、確かに受領いたしました。

年 月 日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 JCOMM実行委員会事務局

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（(一社)JCOMM内）

E-mail: info@jcomm.or.jp